

平成 30 年 11 月 8 日

企 画 課

地 球 環 境 ・ 海 洋 部

1 か月予報に関する国際研修セミナーの開催について

～アジア・太平洋地域の気象局に対する人材育成支援～

アジア・太平洋地域の 15 の国と地域から気象局職員を招聘し、「1 か月予報」をテーマとする国際研修セミナーを開催します。

気象庁は、世界気象機関（WMO）の枠組みの下、主にアジア・太平洋地域の気象局による長期予報（1 か月予報、3 か月予報）の作成をはじめとする気候に関連する業務を支援しています。このような各国気象局への支援活動の一環として、平成 20 年度から毎年度、国際研修セミナーを開催しており、今年度は「1 か月予報」がテーマです。

気象庁は今後も引き続き、このような人材育成支援をとおして各国気象局の気候に関する業務の発展に貢献していきます。

日時：平成 30 年 11 月 12 日（月）～16 日（金）

場所：気象庁本庁

参加国及び地域：インドネシア、カンボジア、スリランカ、タイ、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、フィリピン、ブータン、ベトナム、香港、マレーシア、ミャンマー、モンゴル、ラオス

問合せ先：地球環境・海洋部 気候情報課 異常気象情報センター 担当 高槻・望月
電話 03-3212-8341（内線 3166） FAX 03-3211-8406

(参考)

気象庁が運営する Tokyo Climate Center (TCC) における国際協力活動

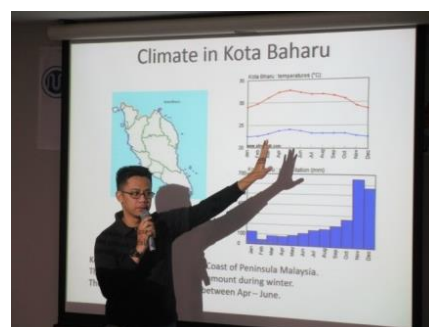
気候は、干ばつ、洪水、熱波、寒波等の極端な現象をはじめとして、さまざまな形で世界中の人々の生活・社会経済活動に影響を与えています。このような気候に関するリスクの軽減を図るため、各国気象局は利用目的に即した精度の高い気候情報の提供に取り組んでいます。当庁は、主にアジア・太平洋地域の気象局による気候情報の提供業務を支援するため、世界気象機関（WMO）の枠組みの下、WMO 第Ⅱ地区（アジア）の地区気候センター（Tokyo Climate Center, TCC）を運営しています。

TCC は、各国気象局に対して天候監視、長期予報等に関する資料や気候解析ツールを提供しており、また、それらを利用して自国に適した気候情報を提供できるよう平成 20 年度から毎年度、国際研修セミナーを開催しています。今年度は「1 か月予報」がテーマです。当庁が提供している予測支援資料や新たに開発した予報支援ツールなどを利用し、各国・地域の研修員が自国の 1 か月予報を作成できるよう実習を中心に行います。これまで 10 年以上に渡る人材育成支援（今年度までの 11 回の研修で 27 の国と地域からのべ 161 名が受講）により、各国気象局は自国向けの長期予報等に TCC の情報を活用しています。

平成 29 年度国際研修セミナーの様子（気象庁本庁：平成 30 年 1 月撮影）



職員が研修員の実習をきめ細かくサポートし、着実な理解の促進と技術の習得を支援します。



研修員による研修成果発表